市　の　財　政

平成２２年６月

千　葉　市

目　　次

Ⅰ　平成21年度下半期における予算の執行状況 ―――― 1

Ⅱ　市民負担の状況 ―――― 3

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高 ―――― 4

Ⅳ　公営企業の下半期の業務状況 ―――― 6

Ⅴ　平成22年度当初予算の概要 ―――― 9

※この公表の数値については、百万円単位で整理してあります。
　表示単位未満を四捨五入してあるので割合・一人あたりの金額・合計等が一致しない場合があります。

「千葉市財政状況の公表に関する条例」に基づき、市の財政状況について公表します。

Ⅰ　平成21年度下半期における予算の執行状況

平成22年３月31日現在

一　般　会　計

平成21年度の歳入歳出予算は、当初3,350億円で、前回（12月）公表時点では、3,694億15百万円でしたが、その後12月、２月に補正を行い、57億50百万円を増額しましたので、最終予算現額は3,751億65百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,392億32百万円、累計額で3,249億19百万円となり、一方、支出総額で1,086億22百万円、累計額で2,494億40百万円となっています。

特　別　会　計

公営企業会計を除く15の特別会計の総予算は、当初3,201億9百万円で、前回（12月）公表時点では、3,225億40百万円でしたが、その後12月、２月に競輪事業特別会計他で補正を行い、総額82百万円を増額しましたので、総予算現額は、3,226億23百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で885億52百万円、累計で2,170億46百万円となり、一方、支出総額で1,113億72百万円、累計で2,808億68百万円となっています。

一般会計と特別会計の平成22年３月31日現在の予算執行状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

区分 / 会計名		予算現額 当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	歳入 収入済額（累計）	収入割合（累計）	歳出 支出済額（累計）	支出割合（累計）
一般会計		335,000	11,691	5,750	22,723	375,165	324,919	86.6 %	249,440	66.5 %
特別会計	国民健康保険事業	84,998	1,875	△ 30	－	86,843	66,328	76.4 %	77,892	89.7
	老人保健医療事業	181	182	－	－	363	194	53.4 %	192	53.1
	介護保険事業	39,662	533	0	－	40,195	31,893	79.3 %	36,348	90.4
	後期高齢者医療事業	6,352	－	－	－	6,352	5,546	87.3 %	5,298	83.4
	母子寡婦福祉資金貸付事業	239	－	－	－	239	236	98.9 %	231	96.5
	霊園事業	658	－	－	－	658	536	81.5 %	585	88.9
	農業集落排水事業	466	－	－	－	466	53	11.5 %	84	18.1
	競輪事業	16,461	－	135	－	16,596	14,826	89.3 %	14,866	89.6
	中央卸売市場事業	1,167	－	△ 23	－	1,144	675	59.0 %	691	60.4
	都市計画土地区画整理事業	510	－	－	7	517	380	73.5 %	204	39.3
	市街地再開発事業	2,352	－	－	151	2,503	270	10.8 %	1,862	74.4
	動物公園事業	1,312	－	－	－	1,312	425	32.4 %	942	71.8
	公共用地取得事業	3,416	－	－	－	3,416	1,918	56.1 %	2,028	59.4
	学校給食センター事業	2,214	－	－	－	2,214	1,143	51.6 %	1,792	80.9
	公債管理	160,121	△ 317	－	－	159,804	92,624	58.0 %	137,854	86.3
	小計	320,109	2,273	82	158	322,623	217,046	67.3 %	280,868	87.1
合計		655,109	13,964	5,833	22,881	697,788	541,965	77.7 %	530,308	76.0

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

今期中の補正予算の主な内容は次のとおりです。

12月補正予算

一般会計	29億90百万円	
生活保護	28億24百万円	生活扶助費、医療扶助費他
積立金	7億84百万円	財政調整基金への積立
都市基盤整備	3億36百万円	蘇我スポーツ公園整備
予防接種	3億29百万円	新型インフルエンザ予防接種
給与改定等	△14億48百万円	給料及び諸手当改定
特別会計	△1億99百万円	
国民健康保険事業	△30百万円	給料及び諸手当改定
中央卸売市場事業	△23百万円	給料及び諸手当改定
病院事業	△1億46百万円	給料及び諸手当改定

2月補正予算

一般会計	27億60百万円	
国・県事業負担金	20億39百万円	道路直轄事業負担金他
千葉マリンスタジアム施設整備	5億95百万円	人工芝の張替に係る債務負担の償還
積立金	3億35百万円	財政調整基金への積立
交通安全施設整備	3億32百万円	地下道安全対策他
生活保護	3億 5百万円	生活扶助費、医療扶助費他
特別会計	△11億55百万円	
競輪事業	1億35百万円	ＪＫＡからの還付金及び運用収入
病院事業	89百万円	心臓カテーテル処置等に係る診療材料費
下水道事業	△13億79百万円	中央雨水ポンプ場建設事業の年割額変更他

一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。
特別会計	特定の目的のために設けられた会計をいいます。千葉市では国民健康保険事業ほか14の会計が条例で設置されています。 また、病院事業、下水道事業、水道事業は公営企業会計と呼び、地方公営企業法に基づき、独立採算を原則として設置された特別会計で、他の特別会計とは区別しています。
補正予算	予算の編成後に生じた理由によって、既定予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立した予算をいいます。

Ⅱ　市　民　負　担　の　状　況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約５割を占めています。

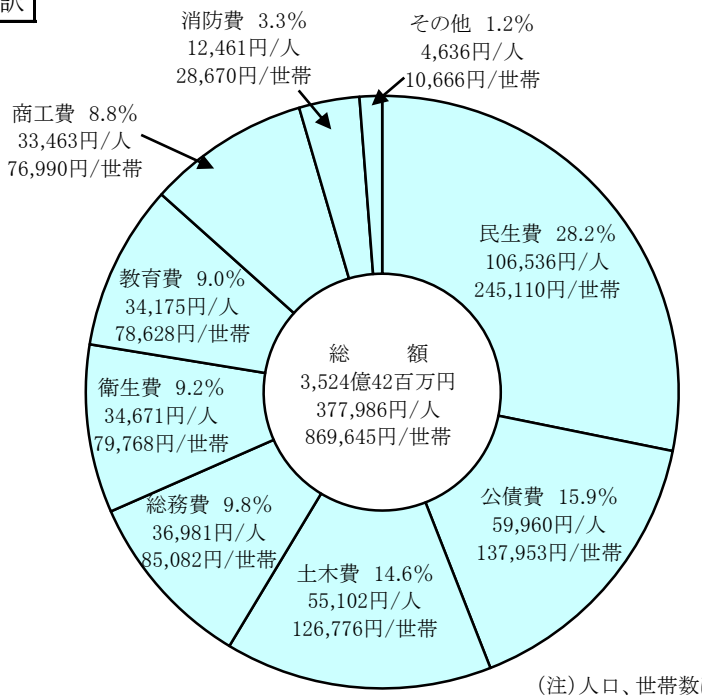
平成22年３月末の予算額でみますと、市税の予算額は、1,712億25百万円（滞納繰越分と国有資産等所在市町村交付金及び納付金を除く。）となっていますので、これを平成22年３月末の人口（932,421人）及び世帯数（405,271世帯）で割りますと、市民１人あたり183,635円、１世帯あたり422,494円の負担となっています。

また、市民のために使われた経費（これを行政経費といいます。ただし、歳出予算現額から繰越額を除く。）は、市民１人あたり377,986円、１世帯あたり869,645円となっています。

なお、行政経費と市税負担額の差額は、市債や国庫支出金等市税以外の歳入で対応しています。

市民一人あたりの市税負担額・・・・・・・	183,635 円	うち市民税	90,157 円
		うち固定資産税	68,091 円
		その他	25,387 円
１世帯あたりの市税負担額・・・・・・・・	422,494 円	うち市民税	207,428 円
		うち固定資産税	156,658 円
		その他	58,408 円
市民一人あたりの行政経費・・・・・・・・	377,986 円		
１世帯あたりの行政経費・・・・・・・・・	869,645 円		

行政経費の目的別内訳



（注）人口、世帯数は住民基本台帳登録による。

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高

平成22年３月31日現在

財産の現在高

公有財産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用、または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と、普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）とに区分されます。公営企業会計を除く公有財産の現在高は次のとおりです。

区分			土地	建物	船舶	浮浅橋	航空機	有価証券	出資による権利
			㎡	㎡	隻	個	機	百万円	百万円
公有財産	行政財産	公用	1,087,769.04	251,667.78	1	－	2	－	－
		公共用	13,660,645.86	2,292,382.38	－	－	－	－	－
		計	14,748,414.90	2,544,050.16	1	－	2	－	－
	普通財産		669,573.41	63,859.23	－	－	－	1,219	2,883
合計			15,417,988.31	2,607,909.39	1	－	2	1,219	2,883

基金

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。

（単位：百万円）

区分	現在高	設置目的
文化基金	130	市民文化の振興を図るため
市庁舎整備基金	3,577	市庁舎整備事業に必要な経費に充てるため
財政調整基金	709	財政の健全な運営に資するため
市債管理基金	30,389	市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理のため
社会福祉基金	232	社会福祉の増進を図るため
地域環境保全基金	611	地域の環境の保全及び創造に資するため
地下水浄化事業推進基金	42	地下水の水質浄化事業を推進するため
リサイクル推進基金	132	廃棄物の減量及び再利用を推進するため
緑と水辺の基金	2,921	緑と水辺を生かした快適な都市環境を創造するため
都市モノレール基金	211	都市モノレールの更新等に必要な資金を積み立てるため
美術品等取得基金	1,008	美術館に収蔵する美術品等を円滑に取得するため
介護給付準備基金	1,780	介護保険事業に係る財政の中期的な調整を図るため
介護従事者処遇改善臨時特例基金	409	介護報酬の改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため
競輪事業基金	275	競輪場の施設の整備及び競輪事業の健全な運営のため
合計	42,426	

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計が一致しない場合があります。

市債の現在高

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といいますが、これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備も可能となります。

（単位：百万円）

区分	現在高	借入先				
		公的資金				民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	その他	
一般会計	716,350	85,918	40,062	15,747	0	574,623
特別会計	36,735	6,018	15	4,062	1,506	25,134
市街地再開発事業	15,228	529	0	30	0	14,669
公共用地取得事業	8,843	0	0	0	0	8,843
その他	12,664	5,489	15	4,032	1,506	1,622
合計	753,085	91,936	40,077	19,809	1,506	599,757

（注）現在高には、千葉市債管理基金積立額は含まない。

一時借入金の現在高

年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足を生じた場合に、その不足を補うために、一般会計にあっては銀行等から、予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を一時借入金といい、その状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入高累計	今期中償還高累計	今期末残高	今期中最高借入額
一般会計	50,000	14,000	248,300	262,300	0	26,500

Ⅳ　公営企業の下半期の業務状況

平成22年３月31日現在

事業の概況

病院事業

青葉病院及び海浜病院の今期中の入院及び外来患者数の利用総数は、272,483人となっています。

区分	病床数	今期中の患者利用状況				診療科目
		入院患者数	１日平均	外来患者数	１日平均	
	床	人	人	人	人	
青葉病院	380	50,352 (51,913)	277 (285)	100,989 (97,597)	849 (827)	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科
海浜病院	301	40,407 (40,143)	222 (221)	80,735 (80,967)	618 (633)	内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

（　）は前年同期の状況です。

下水道事業

今期中の有収水量は、48,146,554m^{3}となっています。

行政区域内人口	955,022 人	整備区域内人口	927,770 人
下水道汚水処理普及率	97.1 %		
接続戸数	398,358 戸	うち今期中増加接続戸数	2,933 戸
接続人口	912,749 人	うち今期中増加接続人口	3,679 人
整備面積	12,173 ha	うち今期中増加整備面積	3 ha
今年度接続助成件数	104 件	うち今期中接続助成件数	67 件

水道事業

今期中の配水量は、2,284,852m^{3}となっています。

計画給水人口	78,100 人	給水区域内人口	57,071 人
給水普及率	80.8 %	うち今期中増加給水戸数	145 戸
給水戸数	17,479 戸	うち今期中増加給水人口	133 人
給水人口	46,095 人		

配水状況

区分	前期中	今期中	計
配水量	2,390,895 m^3 (2,349,896)	2,284,852 m^3 (2,311,928)	4,675,747 m^3 (4,661,824)
有収水量	2,280,260 m^3 (2,216,754)	2,250,705 m^3 (2,228,365)	4,530,965 m^3 (4,445,119)

（　）は前年同期の状況です。

経 理 の 概 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の予算執行状況は次のとおりとなっています。

なお、表に使われている収益的収支とは、医療サービス、汚水の処理、水の供給のように経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

病 院 事 業

（単位：百万円）

区分		予算現額					収入		支出	
		当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
青葉病院	収益的収入	9,212	29	43	－	9,284	9,146	98.5%		
	収益的支出	9,212	29	43	－	9,284			9,143	98.5%
	資本的収入	113	－	－	－	113	108	95.6%		
	資本的支出	1,054	－	－	－	1,054			1,048	99.4%
海浜病院	収益的収入	7,518	4	△ 100	－	7,422	7,207	97.1%		
	収益的支出	7,518	4	△ 100	－	7,422			7,205	97.1%
	資本的収入	350	－	－	－	350	342	97.7%		
	資本的支出	987	－	－	－	987			972	98.4%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

下 水 道 事 業

（単位：百万円）

区分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	22,560	－	－	－	22,560	22,335	99.0%		
収益的支出	22,254	－	－	－	22,254			21,584	97.0%
資本的収入	15,789	－	△ 1,379	5,736	20,146	13,951	69.2%		
資本的支出	24,701	－	△ 1,379	5,745	29,067			22,670	78.0%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

水 道 事 業

（単位：百万円）

区分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	2,110	－	－	－	2,110	2,037	96.5%		
収益的支出	2,056	－	－	－	2,056			1,984	96.5%
資本的収入	1,578	－	－	52	1,630	1,489	91.3%		
資本的支出	2,223	－	－	55	2,278			2,133	93.7%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

市債の現在高

（単位：百万円）

公営企業会計名	現在高	借入先			
		公的資金			民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	
病院事業	24,292	16,482	1,788	3,645	2,377
下水道事業	275,791	99,035	54,850	101,535	20,371
水道事業	17,420	10,138	0	6,993	289
合計	317,502	125,655	56,638	112,173	23,036

一時借入金の現在高

（単位：百万円）

公営企業会計名	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入高	今期中償還高	今期末残高
病院事業	300	0	0	0	0
下水道事業	15,000	0	1,600	1,600	0
水道事業	1,000	0	0	0	0

Ⅴ　平成22年度当初予算の概要

１　編成の基本的考え方

平成２２年度の本市の財政見通しは、歳入において、自主財源の根幹を占める市税は、景気悪化による給与所得の減少、企業収益の悪化などに伴い、個人市民税や法人市民税が大幅に減収となる見込であり、総額においても過去最大の減収が見込まれています。

また、市債は、公債費負担の適正化を図るため、可能な限り発行を抑制する必要があります。

一方、歳出では、新たに制度化される子ども手当や生活保護費などの扶助費や公債費の増に加え、急速に進展する少子・高齢社会への対応などに多額の財政需要が見込まれているほか、現下の厳しい経済状況や雇用情勢から、景気対策への的確な対応が求められています。

予算編成方針を策定した昨年１０月の時点では、約２７０億円の収支不足が見込まれる状況であり、この収支不足をこれまでのような市債や基金に依存した財政運営を続けると、実質公債費比率が、平成２４年度には、早期健全化基準である２５％を超える可能性があります。

そのため、財政再建を最重要課題とし、公共事業の見直しやすべての事務事業の総点検、人件費を含めた歳出削減など、徹底した行財政改革を行うとともに、収納率の向上などのあらゆる歳入確保に取り組む必要があることから、「脱・財政危機」宣言を行いました。

その後、経済情勢の悪化に伴い、市税や税外収入のさらなる減収が見込まれ、収支不足は３００億円を超える規模に拡大しました。

平成２２年度当初予算は、このような厳しい財政見通しを前提に、以下の４項目を予算編成の基本方針とし、取り組むこととしました。

（１）財政健全化・行政改革に向けた取り組みの強化及び大幅な収支不足への対応

財政健全化や行政改革への取り組みを強化するとともに大幅な収支不足への対応として、あらゆる歳入の確保策と既成概念にとらわれない大胆な事業の廃止や縮小など、徹底した事務事業の見直しを図ることとしました。

※次ページ〔収支不足への対応〕参照

（２）マニフェストに関する取り組み事業の推進及び第２次５か年計画への対応

医療・介護・子育て・教育・経済の活性化など真に市民が必要とする分野に予算を重点的に配分する観点から、事業費の精査を行ったうえで、事業の推進を図ることとしました。

（３）現下の厳しい経済状況での対応

景気対策や雇用対策などに取り組むとともに、国の平成２１年度補正予算に的確に対応し、平成２１年度から２２年度に切れ目なく施策を推進することとしました。

（４）未来に向けての取り組み

「子どもを産み、育てたいと思う千葉市」など、未来に向けた投資を行い、若さと活気にあふれたまちづくりを進めることとしました。

〔収支不足への対応〕

（１）当初の収支不足への対応

２７０億円

【歳入確保】　１４９億円

① 公共料金の見直し　１５億円

② 財源対策　１３４億円

・ 市税等徴収対策　（１３億円）

・ 未利用市有地処分　（２１億円）

・ 地方交付税・臨時財政対策債　（９９億円）

・ 県単独補助金の確保　（１億円）

【歳出削減】　△８８億円

① 既存事務事業の見直し　△５２億円

・ 見直しに当たっては、市民生活への影響に配慮しつつ、緊急性や必要性等を考慮し、さらに、他事業での対応が可能な事業については、休止または廃止

・ 外部評価事業については、評価結果を踏まえ、実施方法の見直しなどを行う

〔主な見直し事業〕

・ 難病疾患見舞金

・ はり・きゅうマッサージ施設利用助成

・ 敬老会開催

・ 青色防犯パトロール　他

② 人件費の削減　△３６億円

職員給のカット（9～3%）、政令市で初の退職手当のカット（3～2%）

【市債管理基金借入】　３０億円

※　解消しきれない収支不足は、市債管理基金からの借入

実質公債費比率に配慮し、早期健全化基準を超えない範囲で借り入れを行う。

（２）さらなる収支不足への対応

５４億円

① 財政調整基金取崩額　６億円

② 当初予算で予算計上を見送った経費　△４８億円

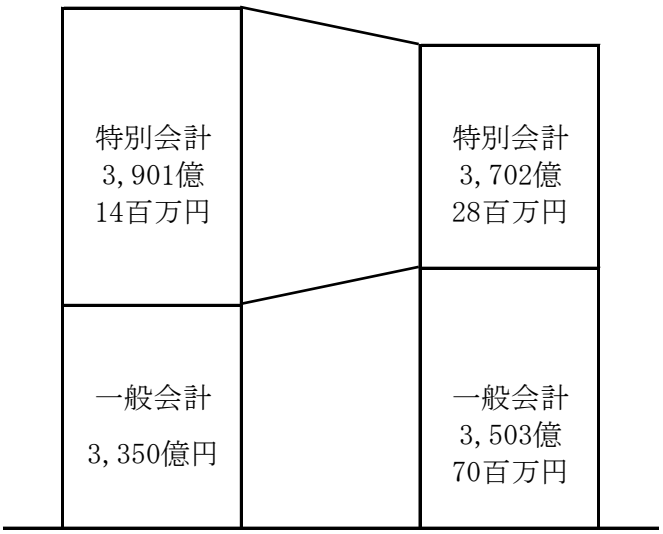
・ 定年退職以外の退職手当　（△２０億円）

・ 国民健康保険事業特別会計の赤字繰出金（△２８億円）

2　予算の内容

(1) 予算の規模

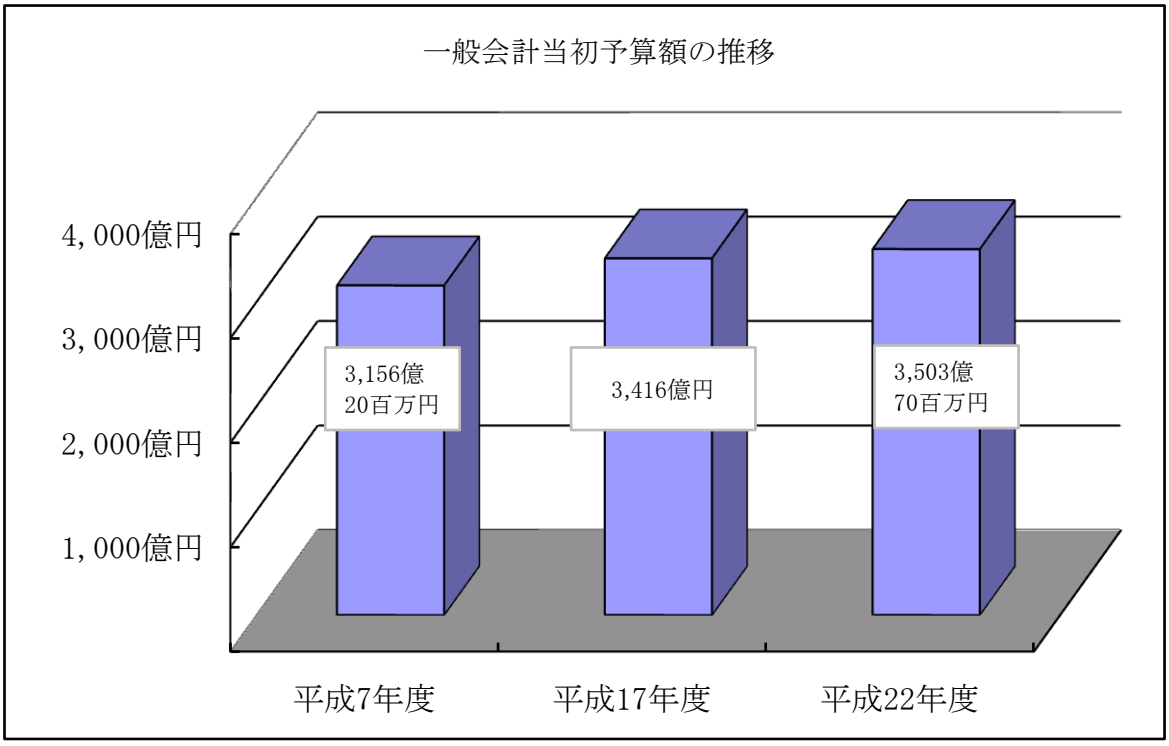
平成21年度	平成22年度
7,251億14百万円	7,205億98百万円 （対前年度比0.6%減）



平成22年度一般会計の歳入歳出予算規模は、総額3,503億70百万円で、前年度と比較して153億70百万円、4.6%の増となっています。

特別会計（企業会計を含む18会計）については、介護保険事業会計や後期高齢者医療事業会計などで増額となったものの、公債管理会計及び下水道事業会計などで減額となったことから、総額は3,702億28百万円で、前年度と比較して198億86百万円、5.1%の減となっています。

以上、全会計を合わせた規模は7,205億98百万円で、前年度と比較して45億16百万円、0.6%の減となっています。



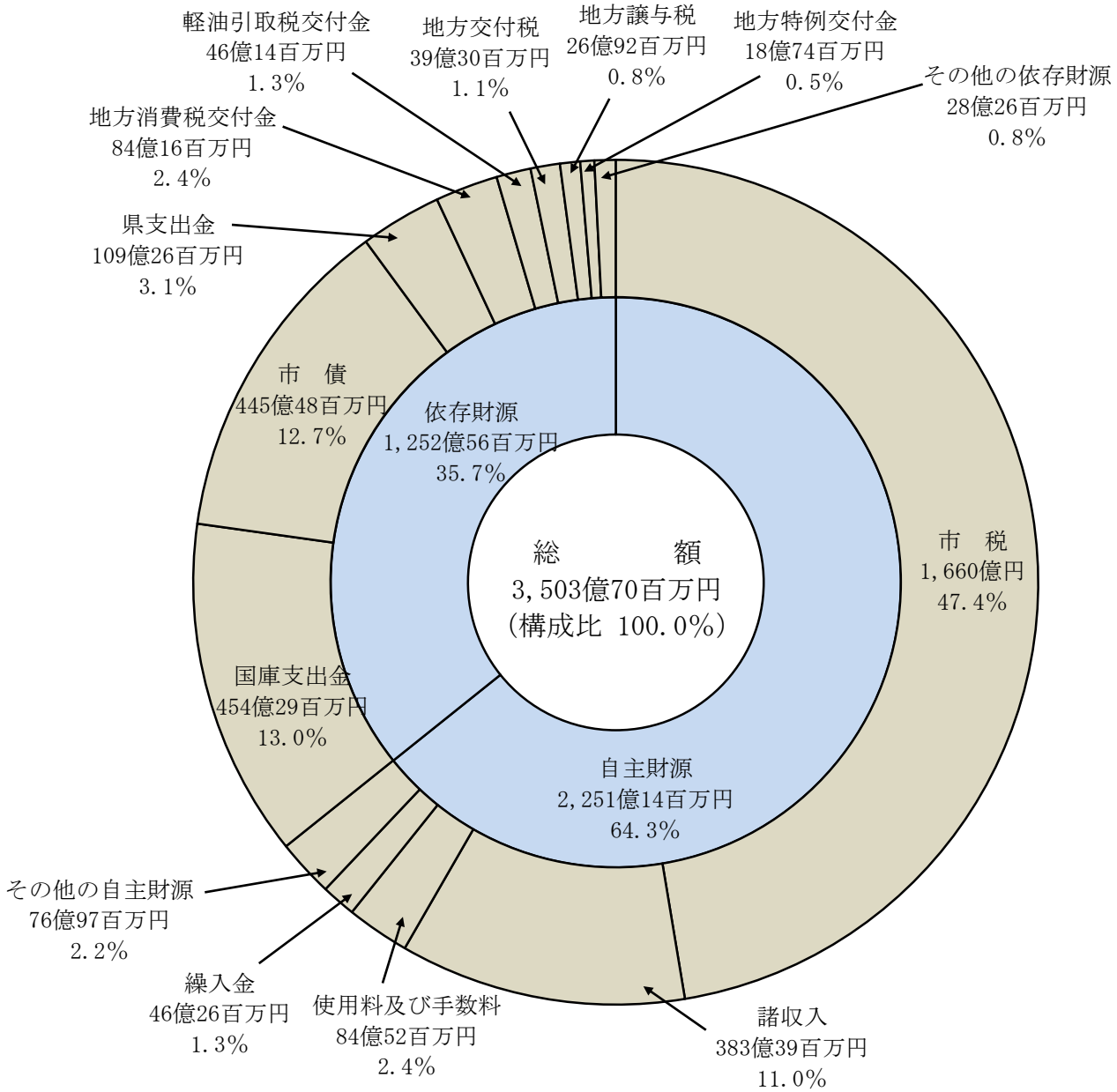
(2) 一般会計予算

（ 歳 入 ）

歳入予算の主なものとしては、市税が1,660億円、構成比47.4％と、歳入の根幹を成しています。

次いで、国庫支出金が454億29百万円、構成比13.0％となっています。

この他、市債は445億48百万円、構成比12.7％となっており、以下、諸収入、県支出金、使用料及び手数料、地方消費税交付金の順となっています。



自主財源と依存財源

・自主財源とは、市税や使用料等のように市が自主的に収入するものです。

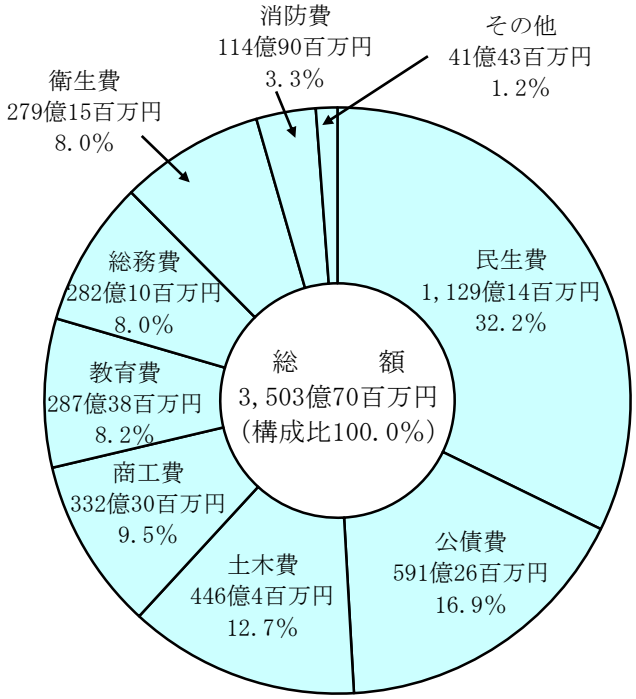
・依存財源とは、国庫支出金や県支出金、市債等のように国や県の意思決定に基づいて収入されるものです。

市税の主な内訳

税　目	予算額	構成比
市　民　税	748億14百万円	45.1%
固定資産税	670億 5百万円	40.4%
都市計画税	127億64百万円	7.7%
市たばこ税	59億97百万円	3.6%
事業所税	47億27百万円	2.8%
そ　の　他	6億93百万円	0.4%
計	1,660億円	100.0%

（ 歳 出 ）

目的別の内訳



歳出予算の主なものとしては、民生費が最も多く、1,129億14百万円、構成比32.2%となっています。

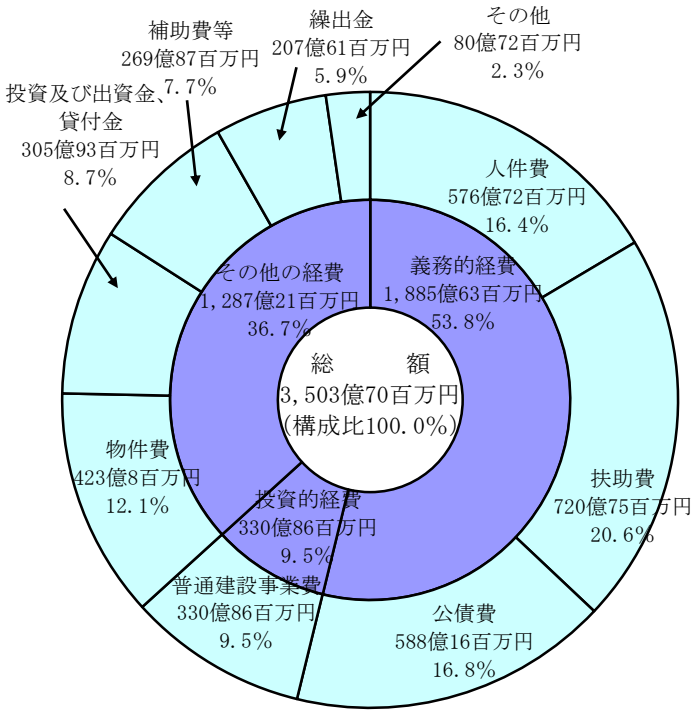
次いで、公債費が591億26百万円、構成比16.9%、土木費が446億4百万円、構成比12.7%、以下、商工費、教育費、総務費、衛生費、消防費の順となっています。

目的別経費と性質別経費

目的別経費とは、どのような行政上の目的のために費やされるかという基準により分類されるもので、議会費、教育費、土木費等をいいます。

性質別経費とは、具体的な行政目的がどのようなものであるかにかかわりなく、その経費がどのような性質を有するかという点に着目して分類するもので、人件費、物件費、維持補修費等をいいます。

性質別の内訳



財政構造の面から歳出予算を性質別でみますと、義務的経費が 1,885億63百万円、構成比53.8%となっています。

投資的経費は、330億86百万円、構成比9.5%で、その全てが普通建設事業費となっています。

その他の経費は、1,287億21百万円、構成比36.7%となっています。

(3) 特別会計予算

平成22年度の公営企業会計を除く特別会計15会計の予算総額は、3,035億20百万円となっています。

主な会計としては、公債管理が1,444億21百万円、国民健康保険事業が845億87百万円、介護保険事業が417億69百万円、競輪事業が160億4百万円となっています。

（単位：百万円）

区分 会計名	平成22年度 当初予算額 (A)	平成21年度 当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)／(B) (D)
公債管理	144,421	160,121	△ 15,700	-9.8%
国民健康保険事業	84,587	84,998	△ 411	-0.5%
介護保険事業	41,769	39,662	2,107	5.3%
競輪事業	16,004	16,461	△ 457	-2.8%
後期高齢者医療事業	7,446	6,352	1,094	17.2%
学校給食センター事業	2,290	2,214	76	3.4%
市街地再開発事業	1,578	2,352	△ 774	-32.9%
動物公園事業	1,275	1,312	△ 37	-2.9%
中央卸売市場事業	1,108	1,167	△ 59	-5.1%
公共用地取得事業	1,024	3,416	△ 2,392	-70.0%
霊園事業	645	658	△ 13	-2.0%
都市計画土地区画整理事業	600	510	90	17.6%
農業集落排水事業	499	466	33	7.1%
母子寡婦福祉資金貸付事業	249	239	10	4.4%
老人保健医療事業	25	181	△ 156	-85.9%
合計	303,520	320,109	△ 16,589	-5.2%

(4) 公営企業会計予算

平成22年度の公営企業3会計の予算総額は、667億8百万円となっています。

（単位：百万円）

会計名 ＼ 区分		平成22年度当初予算額 (A)	平成21年度当初予算額 (B)	増減額 (A)－(B) (C)	増減率 (C)／(B) (D)
病院事業		19,105	18,771	334	1.8 %
	収益的支出	16,811	16,730	81	0.5
	資本的支出	2,294	2,041	253	12.4
下水道事業		43,340	46,955	△ 3,615	△ 7.7
	収益的支出	22,089	22,254	△ 165	△ 0.7
	資本的支出	21,251	24,701	△ 3,450	△ 14.0
水道事業		4,263	4,279	△ 16	△ 0.4
	収益的支出	2,004	2,056	△ 52	△ 2.5
	資本的支出	2,259	2,223	36	1.7
合計		66,708	70,004	△ 3,296	△ 4.7
	収益的支出	40,905	41,040	△ 135	△ 0.3
	資本的支出	25,803	28,965	△ 3,161	△ 10.9

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

本年度の経営方針

病院事業

本年度の業務の予定量は、青葉病院が入院患者で107,106人、外来患者で202,905人であり、また海浜病院は入院患者で88,441人、外来患者で162,618人を予定しています。それぞれ、地域中核病院としての機能を高めつつ、患者サービスの向上に努めていきます。

下水道事業

本年度の業務の予定量は、汚水処理世帯数409,673世帯、総処理水量120,580,660m^3、一日平均処理水量330,358m^3を予定しています。

より安全で快適な都市環境を実現するため、浸水の防除及び公共用水域の水質の保全、衛生的な生活環境への改善などを着実に推進します。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減と管理の効率化を図り、健全な下水道経営に努めていきます。

水道事業

本年度の業務の予定量は、給水戸数17,689戸、総給水量4,848,400m^3（１日平均給水量13,283m^3）となっています。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減を図り、効率的な事業経営に努めていきます。

平成22年６月

市の財政（財政状況の公表）

平成22年６月１日発行

編集発行　　千葉市財政局財政部財政課

千葉市中央区千葉港１番１号
電話 043（245）5077

この印刷物は再生紙を使用しています。

※本市の予算・決算など、財政に関するその他の資料については、財政課ホームページをご覧ください。

http://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/zaisei/

THE FLOWERY CITY・CHIBA

花の都・ちば